

岩手県金融経済概況（2024 年 1 月）

1. 概況

県内経済は、持ち直している。

最終需要の動きをみると、公共投資は、横這い圏内で推移している。設備投資は、増加している。個人消費は、回復している。住宅投資は、下げ止まっている。この間、生産は、持ち直しの動きが足踏みしている。雇用・所得環境は、全体としてみれば改善している。消費者物価（除く生鮮食品）は、前年を上回っている。

2. 最終需要

公共投資は、横這い圏内で推移している。

先行指標である公共工事請負金額（2024 年 1 月）は、2 カ月振りに前年を上回った（前年比+35.8%）。

設備投資は、増加している。

2023 年 12 月短観（岩手県）における 2023 年度の設備投資計画は、非製造業では前年度比減少するものの、製造業では EV 向け電子部品の製造設備など、長期的な需要拡大を見越した能力増強投資等から前年度を上回り、全産業ベースでも前年度比増加する計画となっている（前年度比+13.6%）。

個人消費は、回復している。

百貨店売上高（全店舗ベース：2023 年 12 月）は、4 カ月振りに前年を上回った（前年比+0.1%）。スーパー売上高（全店舗ベース：2023 年 12 月）は、引き続き前年を上回った（同+3.9%）。一方、新車登録・届出台数（乗用車＜含む軽＞：2024 年 1 月）は、供給制約を主因に 2 カ月連続で前年を下回った（同△18.4%）。

この間、サービス消費は、飲食・宿泊を中心に回復している。

住宅投資は、下げ止まっている。

新設住宅着工戸数（2023 年 12 月）は、2 カ月振りに前年を下回った（前年比△14.5%）。内訳をみると、貸家（同+17.2%）は前年を上回ったものの、持

家（同△20.3%）、分譲（同△75.0%）が前年を下回った。

3. 生産動向

生産は、持ち直しの動きが足踏みしている。

鉱工業生産指数（季節調整値：2023年12月）は、2ヵ月振りに前月を上回った（前月比+3.8%）。主な業種の指数をみると、食料品などが低下したもの、生産用機械や電子部品・デバイスが上昇した。

四半期の動きをみると、2023/10～12月は3期連続で低下した（2023/4～6月：前期比△1.6%、7～9月：同△8.0%、10～12月：同△3.3%）。

4. 雇用・所得動向

雇用・所得環境は、全体としてみれば改善している。

有効求人倍率（季節調整値：2023年12月）は、1.23倍と、2ヵ月振りに前月を上回った（2023年11月：1.21倍）。

雇用者所得（県内合計値：2023年11月）は、常用雇用指数（前年比+3.0%）、名目賃金指数（同+7.6%）とも前年を上回るもとで、3ヵ月連続で前年を上回った（同+10.8%）。

5. 物価

消費者物価指数（除く生鮮食品：2023年12月）は、引き続き前年を上回った（前年比+3.1%）。

6. 企業倒産

企業倒産（2024年1月）は、3件、負債総額188百万円となった（前年同月は2件、負債総額405百万円）。

7. 金融面の動向

県内民間金融機関の預金・貸出（2023年12月）をみると、預金、貸出とも前年を上回った。貸出約定平均金利（2023年12月）は横這い圏内で推移している。

以上

